

東京大学物性研究所特任研究員（特定有期雇用教職員）公募について

1. 職名および人数

特任研究員（特定有期雇用教職員） 1 名

2. 所属

物性研究所計算物質科学研究センター

3. 就業場所

東京大学物性研究所

柏キャンパス（千葉県柏市柏の葉 5 - 1 - 5）

変更の範囲：変更がある場合には、本学の指定する場所に限る。ただし、配置換又は出向を意に反して命じられることは原則としていない。

4. 公募・業務内容

強相関電子系を取り扱うための数値計算手法の開発を行い、それを用いて高温超伝導・量子スピン液体などの強い電子相関に起因する新奇量子相の研究を行う意欲的な研究者を公募する。これまでの研究分野は問わないが、数値計算手法の開発、量子多体系の研究経験があることが望ましい。データ創出・活用型マテリアル研究開発プロジェクト(DxMT)のデータ連携部会の活動(ウェブポータル作成を含む広報活動など)も一部担当していただく。

変更の範囲：配置換、兼務又は出向を命じることがある。

5. 応募資格

着任時点で博士の学位を有する者

6. 契約時期

令和 7 年 4 月 1 日

7. 任期

令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日

更新する場合があります。更新する場合は、年度ごとに行う。

更新は、予算の状況、従事している業務の進捗状況、契約期間満了時の業務量、勤務成績、勤務態度、健康状況等を考慮のうえ判断する。ただし、更新回数は 2 回、在職できる期間は令和 10 年 3 月 31 日を限度とする。

8. 試用期間

採用された日から 14 日間（東京大学教職員就業規則第 8 条による）

9. 応募締切

令和 7 年 1 月 6 日（月）必着 ※ただし、適任者が決まり次第締め切ります。

10. 提出書類

○履歴書（東京大学統一履歴書（<https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/about/jobs/r01.html>）を用いること）

○これまでの研究業績の概要と今後の研究計画（A4 用紙 2 枚程度）

○研究業績一覧（特に重要な論文に○印を付けること）

○応募者についての意見を聞ける方(2 名)の氏名、所属、連絡先

11. 提出方法

以下の応募フォーム URL に、必要事項を入力の上、フォーム記載のアップロード URL に応募書類一式を PDF ファイルとしてアップロードすること

応募フォーム URL : <https://forms.office.com/r/TJzmx20DZ9>

※提出に関してご不明な場合には下記総務係へご連絡ください。

連絡先：東京大学物性研究所総務係 Email : issp-jinji@issp.u-tokyo.ac.jp

12. 照会先

提出手続きに関する問い合わせは提出先に、それ以外は下記まで問い合わせること

東京大学物性研究所 三澤 貴宏 Email : tmisawa@issp.u-tokyo.ac.jp

13. 募集者名称

国立大学法人東京大学

14. 就業時間

専門業務型裁量労働制により、1 日 7 時間 45 分勤務したものとみなされる。

15. 休日

土・日、祝日、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）

16. 休暇

年次有給休暇、特別休暇等

17. 賃金等

「東京大学年俸制給与の適用に関する規則」に定める第 4 条、第 5 条及び第 6 条による（年額約 4 3 0 万円程度）

諸手当：通勤手当（原則 55,000 円まで）のほか、本学の定めるところによる。

18. 加入保険

法令の定めにより文部科学省共済組合、雇用保険、労災保険に加入

19. その他

○東京大学は男女共同参画を推進しており、女性の積極的な応募を歓迎します。

○外為法等の定めにより、国外機関との兼業や外国政府等からの多額の収入があり、本学における研究上の技術の共有が制限される場合には、本学教職員としての職務の達成が困難となる可能性があります。そのため、着任後の兼業等については、本学における研究上の技術の共有に支障のない範囲に留める必要があります。

○特別休暇（産前・産後休暇）又は育児休業を取得する場合、「東京大学における教員の任期に関する規則第 3 条」に準ずる扱いとし、申し出により、特別休暇（産前・産後休暇）又は育児休業の期間を限度として、雇用の更新を可能とします。

○お送りいただいた応募書類等は返却いたしませんので、ご了解の上お申込みください。また、履歴書は本応募の用途に限り使用し、個人情報とは正当な理由なく第三者への開示、譲渡及び貸与することとは一切ありません。

○受動喫煙防止措置の状況は屋内原則禁煙（喫煙場所設置）です。

令和 6 年 11 月 26 日

東京大学物性研究所長 廣井 善二